

令和3年8月25日

西部農林水産振興センター県央事務所農業普及部

標 題	集落営農法人の設立を目指す「地域農業を守る研修会」の第2回は県内の2法人から学びました！！
-----	-----------------------------------------------

(ダイジェスト)

管内の6組織を対象にした、「地域農業を守るしくみをつくる研修会」の第2回研修会を開催し、県内の2法人の取り組みを学びました。参加者の理解が深まり、法人化に向けた取り組みに拍車がかかりました。

邑智郡内3町、JA、県等で構成する邑智郡農林業振興協議会では、集落営農法人の設立を目指す、「地域農業を守る仕組みを作る研修会」を7月から開催し、法人設立に向けた支援を行っています。

8月21日には、申込みのあった6組織を対象に第2回の研修を開催し、県内の2法人の取り組み状況を学びました。

講師の (農)みなみ村(雲南市大東町)の理事佐藤氏、(農)いなしろ(浜田市弥栄町)の理事小池氏の2名からは、法人設立までの経緯や当時の苦労、法人設立後の運営での工夫や地域への効果など実体験に基づいた説明がありました。

参加者からは、「法人の構成員をどの範囲にしたらよいか?」「後継者の確保の方法は?」など、たくさんの質問があり、関心の高さがうかがえました。研修会終了後も集落に来て説明をして欲しいなど、次のステップへ進もうという参加者が多く見られました。

研修会は、今後、各集落での検討や合意形成の支援を行い、法人の設立や担い手不在地域の解消などの取り組みを支援していきます。



(農)みなみ村佐藤氏による3人で農事組合法人を設立し、徐々に構成員を増やしていった手法の解説



(農)いなしろ小池氏による、センチピートグラスの吹付やドローン防除等法人化したことで取り組みが進んだ事例の解説